

議 長	会議を再開します。 (午後 3 時 1 5 分)
々	次に、圓山議員の一般質問を行います。 8 番圓山議員。
8 番 圓山議員	<p>通告順に従いまして、一般質問を致します。</p> <p>人口減少に歯止めをかける対策についてお尋ねをします。人口の減少に合わせ戸数も減っていく状況の中で、具体的な対策を聞きたい。I ターンとU ターンに格差を感じるが、基本的にはその地域で残って欲しいという願いはあるものの、ものにはなっていない。いわば生え抜きを育てる良い手立てはないのか、お尋ねをします。以上です。</p>
議 長	それでは、圓山議員の質問「人口減少に歯止めをかける対策について尋ねる」に対する、答弁をお願いします。番外杉本まちづくり推進課長。
番外杉本ま ちづくり推 進課長	<p>それでは、圓山議員の一般質問「人口減少に歯止めをかける対策について尋ねる」について回答致します。</p> <p>第 5 次川本町総合計画における目指すべき将来像におきましては、平成 3 3 年時点での目標人口を 3, 3 0 0 人としており、具体的な数値として学校 1 (ひと) クラスの人数を 2 0 名、高齢者比率 4 5 % としております。今現在、1 歳から 5 歳の保育園児数は 9 9 名で年平均は概ね 2 0 名であり、小中学校の児童数につきましては合計 1 8 6 名で、この平均も概ね 2 0 名を若干超える状況でございます。また、高齢者比率につきましては、本年 2 月末時点において 4 5. 0 % という状況でございます。</p> <p>一方、平成 2 7 年度より実施しております本町総合戦略の人口ビジョンにおきましては 2 0 6 0 年の目標人口を 2, 5 0 0 人と設定し、具体的な取り組みについて、当面の 2 0 2 0 年までの社会増減を± (プラスマイナス) 0 ^{ゼロ} にするとしております。</p> <p>昨今の人口動態を見ますと、直近 5 年間の自然減の年平均は、5 7 人の減であります。社会動態につきましては平成 2 7 年が + 5 1 人 ^{プラス}、平成 2 8 年は + 3 人 ^{プラス} でございます。この人口社会増にかかる移住につきましては、本町の「定住促進住宅整備事業」に加えて、「かわもと暮らし情報センター」の移住希望相談から就業に至るまでを支援しており、平成 2 7 年度から今年度において、1 4 世帯 5 2 名の方が移住をされております。</p> <p>議員ご指摘の具体的な対策につきましては、総合計画、総合戦略いずれにおきましても、人口減少対策において策定された計画でありますので、それぞれに掲げる目標人口を達成するための施策を、年度毎に評価し、P D C A のサイクルにより、次年度以降の本町の状況を勘案し、まずはこの取り組みを達成することが肝要であると考えております。</p> <p>総合計画につきましては、計画期間を 1 0 年としておりますが、事務事業</p>

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

評価の5年間が終了した今年度において、重点施策と成果指数を見直した結果を、また、総合戦略におきましては、その進捗を、本定例会全員協議会において報告させていただきましたが、各事業においての目標達成に向け、引き続き各課で取り組むものでございます。

また、議員ご指摘のU Iターンの格差につきましては、本町における就業に起因する部分が大いと思われまますので、かわもと暮らし情報センターとの連携を一層強化して取り組むべきことが肝要であると考えております。また、本町に進出する企業には、来年度、島根中央高校から5名の方が就職されると聞いております。これらも地元の企業としては有力な就業先となりますので、より一層、企業と連携を図ることで、高校から地元就職により、町外への転出を避ける観点での定住施策を促進することも、非常に大切であると考えております。

議 長

再質問ありますか。8番圓山議員。

8番
圓山議員

丁寧な説明ありがとうございました。ただそれまでにこれは私は三宅町長に答弁を求めていますので、いったん町長に受けていただいて、それから課長へ振っていただくというふうな段取りで、如何ですか議長。答弁を求めている者は町長に答弁を求めていますので。

議 長

町長、答弁できますか。
〔聞き取り不能・・・〕町長の声
いや、求めたいんでしょ？

8番
圓山議員

町長に求めていますので、町長がいったん受けていただいて、詳しい事は担当課長についていうふうに振っていただければ、王道かと思いますが。

議 長

進行と致しましては、本来であれば町長をへて何々課長に答弁させますで良いとは思いますが、当議会は今までずっとこういう形式でとっております。今、改めて変えなくてもよろしいと思っておりますので、〔「ここは、書かなくて良いですね」圓山議員の声〕いやぁ書いておいて下さい。
それで、求められますか。〔「いや、今回は、まぁ良いです」圓山議員の声〕
はい、じゃあ再質問あるんですか。はい、8番圓山議員。

8番
圓山議員

地元からこうして卒業して、一旦は外へ出てみます。やはり外に魅力を感じるんでしょうかね。それから帰ってきて、その人間が川本町で育って、なかなか難しいところがあるんじゃないかと感じております。そうしたUターン者に対する何か違う制度的なものがないかなっていうふうには思っているんですけども。もう一点、中央高校を卒業されてから地元企業にまっすぐ就職される。もし採用になってもおそらく本社に2年間とか、そういう形態に

8番
圓山議員

なって更に帰ってくるっていう形かなと思いますが、いずれにしても、この地域で川本で生まれて川本の土になるっていう人間が育っていくというのが一番望ましいんじゃないかなと思っております。それでその施策として今、言われたように縷々ありましたけれども、もっと具体的にUターン、その企業との提携の絡みがあっても良いですけども、こういうものがあつたら一番望ましいんじゃないだろうかという事があればお聞きしたいなというところでもあります。

議 長

番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

これまで高校生の地元就職というのは、なかなか進まなかったというところがございますが、今年においてですね、中央高校の卒業生が5名地元の企業に就職されるという事は、非常に企業進出においての大きな効果であるというふうに思いますし、企業においてはこれからも従業員を多く募集されるというところでもありますので、企業との提携という訳にはいかないかも知れませんが、こちらからもそういった企業の紹介なり、そういった地元への就職というのは基本的には勘案していただくような取り組みをしていきたいというふうに思います。Uターンについてもですね、なかなか先ほども言いましたけれども、本町の就業にかかる部分、起因する部分がなかなかUターンで進んでいかないという部分が非常に多い部分であろうかというふうに思っておりますが、こういった企業の進出については、非常に有り難いものであると思っておりますので、そういったところを大いに活用していければというふうに思っております。様々なUターン者に対する支援というものに取り組んでおるところでございますが、先般の来年度の予算の特別委員会でもお話をしましたけれども、今、新築の助成というものがございますが、そういったものは新築については、これは総合戦略の期間中で一度終止符を打とうと思っておるという事をお話をしました。ただUターン者にかかる改修事業というのは、こういったものは残していこうというふうに考えておるところでございます。Uターンの方というのは言い方悪いですが素性が分かると言いましょか、地元の人也非常にご存知の方であるというところがある。そういった安心できる方でありますので、決してIターンの方が安心できないという訳ではないですけども、そういった意味でもUターンの方の支援というものは、いろいろ検討して新たな政策も考えていきたいというふうに考えております。

議 長

再質問ありますか。8番圓山議員。

8番
圓山議員

これは私事で申し訳ないんですけども、たまたま私のところも子どもが跡を継ぎました。そうした中で昨年ちょっと家を構いましたらね、今いわれるような補助金もありましたが、搬入費っていうのは別段500万計上され

8番
圓山議員

ているんですよね。何の搬入費かなと思ったら、公民館あたりに一旦、荷を下ろして、それから個運搬する。その個運搬の経費なんです。やっぱり道路が狭いからでしょうね。そういうふうな余分な経費が掛かってくる。ましてや今年みたいに雪が降りますとね、なかなか普通の車では動けない。どうしても4WDの車に頼らざるを得ない。ですから普段は間は使わないんですけども、そういうふうな車まで必要だということにでも住んで、後を継ごうっていうふうに考えてくれてますので、私とすれば有り難いかなと思っていますが、ただそうした中でいろんな奨学金云々制度があるっていう話も聞きましたが、その辺の話はないんですか。IUターンに対してですか。定住奨学金、定住奨学制度、ちらっと聞いている訳ですよ。

議 長

番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

今回、新設する制度につきましては、外に出られても10年以内にお帰りになられる方に対するもの。それからもうひとつは、学生として出られた方が奨学金を借りられた場合に、川本町に帰ってきて就職された場合には、その奨学金を肩代わりして、お支払いをします。それ相当のものを町の方が本人にお返しをするというような制度を新設しておるところでございます。ですので10年以内という括りが、ここにはあるというところがございます。

議 長

再質問あります。8番圓山議員。

8番
圓山議員

ですからそういうふうな制度も、これは一旦出て帰ってくるUターン者に対する制度ですね、10年というしぼりはあるけれども。はい、分かりました。それからもう一つはですね、私の家からこうして見まして、見える範囲内はもう家はあるんですけども、人が住んでいないんです。ちょっと角度をふってもやっぱり人は住んでいない。こういうロケーションなんです。おそらく僕に限らずそういう所は随分あるんじゃないかと思えます。そうした中で、家は残っているんですが、人が住んでいない。それで未だ危険家屋でもない。先ではどうなるんだろうか。自治会費を払う戸数はどんどん減ってくる。もう自治会の運営も成り立たん。そうした中で自治会の中で隣との合併をしなくちゃならないじゃないかっていうふうな自治会の中の動きがありますが、そういう嘗て私は言いました。その自治会組織の再編成っていうのを行政が主導しながらでも何かする考えはないか、っていう事をお聞きしましたが、その時は無いというふうな答えでありました。地元において、その事を自分たちで合併再編をしなくては成り立たんというところまで来ています。そういう地域っていうのは全くの崩壊集落。家の軒数はほんと数えるだけしかない、という実情の中で、じゃあどうすりゃあ人間が増えるのかなと、先ず増えることはないですね、はい。そうした中、漁師さんが魚を獲るのに網を打ちます。網をどこに打つかといたら、やっぱり魚の要るところへ網

8番
圓山議員

を打つんですよね。魚の居ないところには決して網を打たない。じゃあ魚のいるところっていうところは、どういったところかって言ったら今頃は魚群探知機とかいろんな物で見られるんでしょうけども、やはり餌は豊富なところ。決して魚っていうのは水がきれいだったらありますね。水清ければ魚棲まず。決して水がきれいだったら棲むってものでもない。餌が豊富にあるっていう事は、やっぱり清濁^{せいだく}一緒なんです。そういう意味で良いことばかりでは決して人間も増えないだろうし、悪い事だけでも当然、増えないだろうし、やはり適当な清濁一緒な行政、大いに私は必要だと思っております。そういう意味で人口が増える中において初めて漁師さんも網が打てるんじゃないでしょうか。いろんな施策はありましようが、そういう意味では今どっちが良いのか悪いかわかりませんが、川本町は綺麗なのか、濁っているのかわかりませんが、やはり清濁一緒で繁栄していく。そうした中、今、先ほども言いましたけれども、私も軽トラック持っています。雪が降ったら、これが無いと動けませんからね。ただその軽トラックっていうのも、農家であれば減税経費として見られるんですね。農家でない場合は、これは経費にならないんですね。軽トラックで通勤されている方がありますが、おそらくこれは経費で落ちないと思う。そうした中、三原みたいな雪の降るところは軽トラックの税金は要らないよというような特別減税、考えてみたら面白いと思いますよ。左田野課長が仰いました、たばこ税が上がるそうですけども、もうたばこの税金も要らんと。川本町は返しますというぐらいのね、思い切った税制になれば、「川本町はええなあ。住んでみたいな」っていう人が何人かは増えると思います。そういうふうには個性的な川本町、住んでみた方が良かったっていうふうな特別減税。考えられる気はありませんか。

議 長

はい、番外湯浅町民生活課長。

番外湯浅町
民生活課長

先ほどの軽自動車税とたばこ税の事については、ちょっとお答え出来るかなと思いますが、いずれにしても地方税法で制度的に決められた事がございまして、それに基づいて、町の税条例をその都度、改正して課税するものでございまして、なかなか税としての措置というのは難しいかなと思います。農業の方の経費で支援をするだとか、健康支援の方でいろいろと支援をするだとかいう事は考えられると思いますが、いずれにしても川本町の税条例の方での、ちょっとそういうのは難しいかなと思います。以上です。

議 長

再質問ありますか。はい、8番圓山議員。

8番
圓山議員

やっぱりそれじゃあ面白くないです。たばこ税が返ってくるっていうような町だというふうな事になれば面白いなど。軽自動車税、これは何かできそうな気がするんですがね。今年なんかも、ずいぶん除雪に費用が掛かってい

8番
圓山議員 ます。あれほどやっぱり除雪をしていただいても対応仕切れない故に軽トラックが必要なんです。だって朝5時ぐらいに出掛ける時にね除雪がしてないでしょ。やっぱりそうした中でやっぱり要るものは要るんです。だから雪の降るところ、雪の多いところ、その軽トラックこれは減税するとかね、僕はあっても良いなと思ってますけどね。別に答えは良いです。

（「答弁いらない？」議長の声）

うん。次いきます。

（「はい」の声あり）

それで、もう1つお聞きしたいのは、空き家バンク云々は良いですけども、空き家の対策としてずいぶん危険な家屋が見れる。それはその対応仕方、それは見た町民は、どういうふうになれば良いのか。個々で連絡して何とかしんさいやっていうふうな努力は為れているんですが、三原にもずいぶんあります。それは町が何か責任を持って、これは完全な危険家屋だというふうに認定してアクションを起こしていただけるんでしょうか。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 ご質問のございました危険空き家の対策でございます。これにつきましては、去年のところで町の条例も作らせていただきました。30年度にはです、そういった空き家の対策の委員会も立ち上げさせていただいて、本当に危険な空き家について、それをどのように対応するかというのは、その委員会の中で決めていくという形になろうかと思えます。基本的にはその空き家の持ち主の方にその対策をお願いするというのが基本だろうかというふうに思っております。以上でございます。

議 長 再質問ありますか。8番圓山議員。

8番
圓山議員 仰ることはごもっともで持ち主が当然対応するのは本当なんです、ただ副町長の周り、湯浅課長の周り、やっぱり目に見える事があります。それでやはり自治会の中の事です、親切で「何とかしんさいや」って言うんですが、なかなか対応してもらえない。そうした場合、やはり役場としてピシッと云えるものが無いと動いてもらえないのかなという気がしないでもない。という事なんです。それで今言われるように、その所有者がやるべきなんでしょうけども、その所有者をそういうふうに仕向けていただきたい、という思いがあります。はい。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 ご質問のございました件でございますけど、これについては危険空き家だという事で町の方に情報提供いただきました。それについて町の方で現状把

番外森川総務財政課長 握させていただいて、その委員会の中でこれはもう危険だという事であれば町の方からですね、その所有者の方に処理をして下さいという通告を、注意を先ずさせていただきます。それでも為されない場合には、次は勧告とかです、そういった形で段階的にそういった町からの指示というのが、その所有者の方にはさせていただくというような形になろうかと思えます。

議 長 再質問ありますか。はい、8番圓山議員。

8番圓山議員 その建物の危険家屋だという判定は、その委員さんがされるんですね。選考委員の方が。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 今、考えております委員さんはですね、どうしても我々は建築の知識もございませんので、そういった建築の知識のある方、或いは法律の知識のある方ですので、土地家屋調査士とかですね、行政司法書士さんとか、そういった方、専門の方も入っていただいた委員会をですね、作る事になろうかと思えます。その中でご検討いただいて、その家屋の対応について協議するというような段取りになろうかと思えます。

議 長 再質問ありますか。8番圓山議員。

8番圓山議員 そういう有識者の方に集まっていただく組織は今から作るんですね。いつ頃ですか。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 新年度に入りましたらと考えておりますけれども、今まだ直ぐこの案件というのを若干の案件がございますので、新年度に入りましたからその辺の動きをしたいというふうを考えております。

議 長 再質問ありますか。はい、8番圓山議員。

8番圓山議員 それからもう1点お聞きしたいのは、有機の話が出ておりましたが、その有機肥料を云々、直接ではありませんが、例えば道端の草を刈ったり山林を伐採したりそういうものを粉碎して、有機肥料の素にしようというような考えが嘗てありました。ただなかなかその執行部の方からそういう事を言っただけでないものですから。そういう粉碎器等々を購入されて、その有機の農家に対する貢献って言いますか、貢献をする為にもそういうものがあつた方が良いというふうを考えておりますし、同時にやっとな県の文化財になりま

8番
圓山議員 した丸山もですね、何らかの形で今ボランティアの方が一生懸命やってもらっていますが、更にまた手を加える必要があるんだろうとっておりますが、その辺のそういうふうなお考えはありませんか。

議 長 えっとそれをどう人口減少につなげていかれるか、もう少し説明をいただけたら執行部が答えやすいと思いますが。

(「ちゃんと落としますけえ」の声あり)

はい、答えられれば答えて下さい。無理なら無理。

(「いや答えられないなら良いです。」の声あり)

番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 有機農業というのはですね、たいへん必要なものであるという事は先ほども他の議員さんからのご質問の中にはあったように思います。そのそういった有機堆肥を製造するような粉碎器、そういった購入のご質問というふうにご受け取りましたけれども、それにつきましては今、町の方で直ぐに導入するという事は、今ちょっと考えていない状況でございます。

議 長 再質問ありますか。はい、8番圓山議員。

8番
圓山議員 直接の人口云々の問題ではないですけれども、やはりそうした中で地元へばり付いて頑張っている人たち、それに対してやっぱり何か後押しをして欲しいという思いはあります。やっとその文化財になった丸山もですね、何とか残っている人間、少ない人間で維持しようというふうにご頑張っております。できればこれは何れは国の文化財に押し上げていただきたい。川本町、何にも無い川本町じゃなくして、やはり外から来た人も「何かどこか見るところありますか」って聞かれた時に、「何もない」っていう町じゃいけない。「やっぱり住んで良かった川本町」っていうふうにご言ってもらいたい。地元の人ごも言ってもらいたい。そうした中で、軽自動車ご税金ご要らない、たばこの税金ご返ってくる、あっ国の文化財ごある、こういう町になつたらすごいですよ。それでエゴマの話ご少しごしますけども、エゴマご最初ごらずごつと流れご知つてますからね、そうした中で確かにその生産者、固有名詞ご出して良いご分かりませんが、竹下さんの頑固なこだわりと、頑固な頑張りごで、それごマスコミの力ごあそこごまできました。ただマスコミごきたところごで、あの前の側溝ご落ちるんごですよ車ごね、これはやっぱり何ごかしごないごといごかごですよ。町ご行政ごも、良いごこごばかりご使うんごじゃなくして、そういうフォローごもごどこごごごしてごいただきたい。それはやっぱりその何ご言うんごですよか、地域ご頑張つてごいる人の僕ごは後押しごだごろうごと思ごいます。そうした良い町、住んで良かったごという町ごならないご、更に人口ご減つてごくるんごだごろうごと思ごっております。あの地域整備課長、何かコメント。

議 長	答弁されませんか。丸山云々が出ましたけれども。はい、番外谷川教育長。
番外 谷川教育長	一昨年だったですかね、県指定にやっとしていただいて、まあ話の中では国の重要文化財に匹敵する価値はあると。ただそう言われてもなかなか国の指定というのはそう簡単には取れるものではありませんので、念頭におきながら地元の丸山の草刈り等については継続してやっていきたいというふうには思っております。
議 長	はい、再質問があるなら圓山議員、軌道修正をお願い致します。 再質問ありますか。はい、8番圓山議員。
8番 圓山議員	何れにしてもそういうボランティア団体が頑張っておりますので、是非ともそういう事を目指して、住んで良かった川本町にしたいとお願いをして終わります。
議 長	答弁いりませんね。 （「はい」の声あり） はい、以上で「人口減少に歯止めをかける対策について尋ねる」の質問を終わります。
々	これをもちまして、圓山議員の一般質問を終わります。
々	以上をもって、本日の議事日程は全て終了しました。
々	本日は、これをもって散会とします。お疲れ様でした。 <div style="text-align: right;">（午後 3時45分）</div>

この会議録は、川本町議会事務局長 櫻本 博志 が記載したもので、その内容に

おいて、正確である旨を証するためここに署名をする。

川本町議会議長

川本町議会議員

川本町議会議員